



平成 30 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 執行役員
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

当社子会社による米国 QurAlis 社との iPS 細胞作製技術に関するライセンス契約締結のお知らせ

当社の 100%子会社である株式会社 ID ファーマ (以下、「ID ファーマ」という) は、同社が所有する CytoTune®-iPS (※1) を用いて米国 QurAlis Corporation 社 (以下、「QurAlis」という) が iPS 細胞 (※2) を作製し、その iPS 細胞由来の分化細胞を創薬スクリーニング等に使用することを許諾する契約を締結したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約の概要

ID ファーマは QurAlis に対して、同社が CytoTune®-iPS の技術を用いて iPS 細胞を作製すること、それにより得られた iPS 細胞を分化させること、それらにより得られた iPS 細胞や分化細胞を創薬スクリーニング等に用いることについて、米国を対象とする非独占的な権利を許諾しました。これにより ID ファーマは QurAlis から年間使用料を受け取ります。

2. 契約の意義

QurAlis は、本拠地を米国マサチューセッツ州に置くバイオベンチャーで、筋萎縮性側索硬化症 (ALS : Amyotrophic Lateral Sclerosis) の治療法の研究・開発を行っています。

ID ファーマの iPS 細胞作製技術は細胞の染色体を傷つけることなく、かつ効率よく iPS 細胞が作製できるため、様々な疾患患者様由来の血液や組織から、多種多様の iPS 細胞および分化細胞を作製するのに最適であると考えられています。

このような患者様由来 iPS 細胞から作製した分化細胞を用いた創薬スクリーニングは、研究段階においてヒトに対する効果や安全性等を予測できるため、迅速な医薬品の開発に繋がるものと期待されます。

ID ファーマは、本契約のように CytoTune®-iPS を活用した iPS 細胞等の作製とその利用を許諾する契約の締結を推進しており、そのような取り組みにより基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出できるものと考えております。

3. 技術実施許諾先について

技術実施許諾先の概要は次のとおりです。

会社名	QurAlis Corporation
本社所在地	179 Sidney Street Cambridge, MA 02139 USA
ウェブサイト	http://www.quralis.com/

4. 業績に与える影響

本契約締結による業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

※1. iPS 細胞作製キット CytoTune®-iPS

CytoTune®-iPS は、京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞作製技術と、ID ファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発した iPS 細胞誘導キットであり、本キットを用いることにより、一回のベクターの使用で線維芽細胞などの体細胞から iPS 細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。さらに本キットを用いて作製された iPS 細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また iPS 細胞誘導に用いたベクターが細胞から素早く消失されるよう改良されているため、国内外の研究者から高い評価を受けております。

※2. iPS 細胞

induced pluripotent stem cell (人工多能性幹細胞) のことであり、体細胞に特定の遺伝子を導入することにより樹立される、ヒト等のあらゆる組織、細胞に分化する能力を持つ幹細胞のことです。

以 上